会報 46号

２０２２年（令和４年）１１月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
群馬県館林市北成島町1829-5
ｔｅｌ．０２７６（７０）１３２６
ｆａｘ．０２７６（７０）１３２７
http://otagaisamaegao.net/

NPO法人 お互いさまネットワーク

＝＝ 理　念 ＝＝
人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

＝＝ 指　針 ＝＝
① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい職場づくりに取り組む事業所認定
ぐんま介護人材育成宣言

～～～～　令和4年度取り組みの重点　～～～～
① 安全な事業活動で利用者・家族や地域住民の生活に貢献する
② 法人の安定経営を前進
③ 働きやすい職場の構築　計画策定⇒実施

お互いさまネットワーク主催講演会　R4.11.17

「生活を支える外出手段」を考えよう！

今年度から新たに策定した法人戦略5年後ビジョンのひとつ、「年1回の講演会を行い福祉医療・住民関係者と連携を深める。」について令和4年11月17日、館林市文化会館の小ホールにて講演会を行いました。テーマは「普段の生活で車での外出が当たり前になっているが、加齢とともに運転が出来なくなった時、どのような外出手段が準備されていればよいのか」です。当日は28名の方にご参加いただきました。

共催してくださった「NPO法人全国移動サービスネットワーク」理事の笹沼和利氏の他、つつじ野区役員角田好二氏、明和町社会福祉協議会専務理事荒井信行氏をお招きし、地域事例の紹介とディスカッションを行いました。

地域事例ではつつじ野区が地域課題解決のため設立した「NPO法人つつじ野バイタル」や明和町社協が取組むオンデマンド交通「チョイソコめいわ」「楽ラクシー」等の紹介がされ、ディスカッションではこれをもとに、住民の反応や運営上の課題、ボランティアの方の人数・年齢層など話をより深く掘り下げ、今後を見据えた検討会となりました。

講演会は地域住民の他、関係機関の職員や議員、介護事業所など多くの方がご参加くださいました。これを元に今後の地域課題、要望解決の足掛かりとなることを願っています。

支え合い活動

先月、平成18年より移送サービスをご利用くださっていたTさんが、市外の施設への入所が決まり、ご利用が終了となりました。諸事情のため、突然のお別れとなってしまいましたが、新しい環境の下、お健やかに日々を送られていると、この原稿の件でご主人に連絡を取り伺い知ることが出来ました。
Tさんはご利用者さんの中でも、ストレッチャーによる送迎を最も数多く、長期間にわたりご利用くださり、まだ不慣れな私たちに沢山のことを教えてくださいました。玄関までしかストレッチャーが入らないため、ご主人お手製の簡易担架(？)による移乗は長年の在宅介護の知恵と工夫の賜物でした。おしゃべり好きでスタッフとも気さくに言いたい放題したりと、楽しい時間を共有できたこと、今となっては宝物です。
お元気でいてください、私たちも微力ではありますがまだまだ頑張ります。

協力会員募集中! TEL 0276-74-8286　担当　坂田まで

ケアプラン介護相談の喜楽　第２回コラム
「訪問薬局、訪問栄養士について 」

ケアマネージャー　陶山典子

今回は「訪問薬局」「訪問栄養士」についてです。
「訪問薬局」とは、医師から処方された処方箋を薬局に出します。最近は院内処方(病院、診療所)が少なくなり、ほとんどが院外処方(薬局)となっています。高齢となり自分で薬の管理ができなかったり、末期ガンの方が疼痛コントロールのために医療麻薬を処方されたり、在宅での内服治療が多くなってきています。窓口でも処方内容の説明・飲み方・副作用など説明してくれますが、自宅まで薬剤師が薬を届け、残薬を確認し次の通院日までお薬カレンダーにセットしてくれたり、副作用の有無や本人の様子を訪問看護師、ケアマネージャー、主治医等に報告することも可能です。残薬があった場合には主治医に報告し処方の調整をしてくれます。CMでも流れていますが、かかりつけ薬局を作っておくことも大切なことだと思います。
「訪問栄養士」とは主治医の指示のもと、自宅で栄養指導をしてくれる管理栄養士です。糖尿病、心疾患等でカロリー制限、塩分制限を主治医から言われ、病院で栄養指導を受けて退院してくる方も多いと思います。また高齢となり「急に痩せてしまった」「食欲が出ない」「噛むことや飲み込みが大変になってしまった」など食に関する問題を相談することも出来ます。簡単なレシピや実際に自宅の台所で簡単な調理を一緒に学ぶこともできます。
食は生きていく中で一番大切なことだと思います。公立館林厚生病院前のファミル薬局内に「イートルーム」が開設されており、管理栄養士が常駐して相談や設備を使った調理実習が出来ます。食に不安がある方は一度覗いてみるのもいいかもしれません。

訪問介護の喜楽

訪問介護のスタッフの一員になり2年半が過ぎようとしています。利用者様のお家での支援のため慣れないことも多く、大変なところもありましたが先輩ヘルパーの方々に頂いたアドバイスや、利用者様からの「ありがとう」等の言葉に支えられてきたのだと思います。今後も利用者様の生活を支え、少しでも訪問が入る日を楽しみに待っていて下さるようなヘルパーになっていければと思いました。

ヘルパー　関根

よってこ松沼

先日、赤い羽根共同募金から寄贈されたオートミールを用いて昼食メニューを作っています。オートミールはご飯に比べカロリーや糖質が低く、また食物繊維を多く含む健康食です。今回はこの普及に貢献する目的での提供になります。美味しく食べて健康にもなれる、お薦めの食事です。
月・木曜日の10時から16時で営業中です！

グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ

赤い羽根共同募金を通じて、日本ケロッグ合同会社からオートミールの寄贈を戴きました。オートミールはオーツ麦を加工したシリアルで、栄養が豊富な食材として現在注目されています。手軽な調理で、ご飯などの主食の代わりにもなり、水分を含むと食感も柔らかくとろみが出るので、高齢者の健康的な日々の食事にオススメです。

今回はお試しで、オートミールを使ったお好み焼きに挑戦しました。水で柔らかくした物を捏ねて生地を作り、ホットプレートの上で焼いていきます。最初は普段と違う作り方に皆さん戸惑っていましたが、食べてみるとおいしいと好評でした。密かに利用者さんの便秘解消効果も期待しています…。

皆で干し柿作りをして美味しくいただきました！

↑クリスマスツリーの準備もしています！

↓花を生ける様子は真剣そのもの…

ホームページでブログ更新中です。ぜひ、ご覧ください。

デイサービスセンター喜楽

デイサービスセンター喜楽では、昼食後に作業の時間があります。利用者さんと一緒に楊枝入れや雑巾縫いをしています。楊枝入れは館林うどんさんや近くのお店に置いて頂いています。雑巾は多々良保育園、松波保育園、成島保育園に配り園児に使って頂いています。これからもこの活動を続けていき、利用者さんの励みになれば良いと思っています。

保育園からのお返しにリースを戴きました！

地域密着デイの喜楽

地域密着デイの喜楽では利用者様のやりがいや地域貢献の一環としてアクリルたわしと雑巾を作り、地域の学童保育へ寄付させていただきました。

別の日はサツマイモの収穫を行いました。煮物にしたり、天ぷらにしたりして、「美味しい!!」と皆さん喜ばれました。

多機能ケアの喜楽

【畑で芋掘り見学】

11月某日、畑に植えてあったサツマイモが大きくなったので、職員が芋掘りをしている姿を利用者さんたちに見学してもらいました。

泥まみれで芋掘りをしているのを見て最初は応援してくれていましたが、いつの間にか畑に咲いている花摘みに夢中になっていました（笑）

結局１日では収穫が終わらず、後日また芋掘りを行いました。